



▲かほく市指定文化財 諏訪八幡神社 社叢(多田区)▶

## 「諏訪八幡神社 社叢」

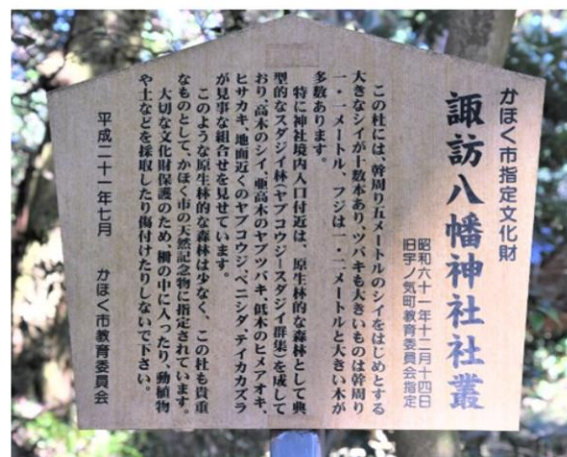
鳥居から坂道を200mあまり上った諏訪山に、この神社があります。シイ、スギ、フジ、ツバキの巨樹老樹が手つかずに茂る社叢は、昭和61年に宇ノ気町天然記念物に指定されました。

別世界のように静寂な境内は清々しい空気に満ちています。

同神社は平安時代に創建され、かなり格式の高い神社だったようです。氏子は江戸時代には多田、御門(津幡町)、白尾の三村に及び、明治の中頃まで白尾の祭りには御神体を入れた神輿と獅子を持って出かけて行ったと言います。

～「石川県河北郡誌」より～

少子高齢化が進む地区の住民にとって、この神社は大切な心のよりどころにもなっています。





## かほく市史編集専門委員会 寺社部会長 ごあいさつ

木越 祐馨

『かほく市史』資料編6寺社は、令和8年度刊行を予定しています。今年度より刊行に向けて、史料の調査・蒐集（しゅうしゅう）を、9人の専門委員により開始します。

現在、市内には寺院38カ寺・神社44社が存在します。いずれの堂内・境内等にも、かほく市の歴史を語る史料が残されています。多くの史料を調査させていただき、広く市民の皆様に歴史の豊かさを知っていただきたいと思います。

私たち専門委員ばかりではなく、市民の皆様のご協力が是非とも必要です。多くの情報を市史編さん室にお寄せください。皆さんと一緒に、市史をつくり上げていきましょう。

### 『かほく市の寺院の特徴』（木越寺社部会長の談話）

かほく市域に所在する38カ寺の寺院は、いずれも真宗系です（真宗大谷派37カ寺・浄土真宗本願寺派1カ寺）。かつては曹洞宗寺院も存在しましたが、真宗の優勢地帯と断言していいでしょう。

また、市域は加賀北部と能登南部にわたっており、いわば境目地帯であることから、真宗のあり方も多様でした。加賀の光徳寺・弘願寺、能登の光専寺が戦国時代に影響力を及ぼし、一向一揆の組織である河北郡一揆と歩みを共にしました。

江戸時代には東方が圧倒し、村々に近世寺院・道場を成立させ、地域の門徒に支えられて現代に及んでいます。

### 『寺院調査開始』

今年度より市内寺院の調査を開始します。その1か所目として、5月18日に高松の眞證寺に、寺社部会3名の専門委員と2名の職員が調査に伺いました。多くの貴重な史料（掛け軸や古文書）があり、新たに確認されたものもあって、専門委員にとっても大きな驚きと喜びでした。

調査の方法は、史料の1点1点を写真に写すと同時に、サイズや内容を確認し、古文書であれば封筒の表面に記してその中に保管していきます。その後データ化し目録（一覧表）を作成するまでを行い、目録は1部所有者にお渡しします。

所有者の方には大変ご協力をいただき、きちんと整理されたことをとても喜んでいただきました。

このような屋内の調査の他に、今後屋外の石造物の調査にも取り組んでいきます。



▲▼専門委員による史料調査



## 古文書を後世に残していきましょう！

古文書と聞いてどのようなイメージをお持ちですか？何と書いてあるのかよく分からない「くずし字」で、昔の人が手紙や約束ごと、当時の記録などを筆で書き記した書類というところでしょうか。

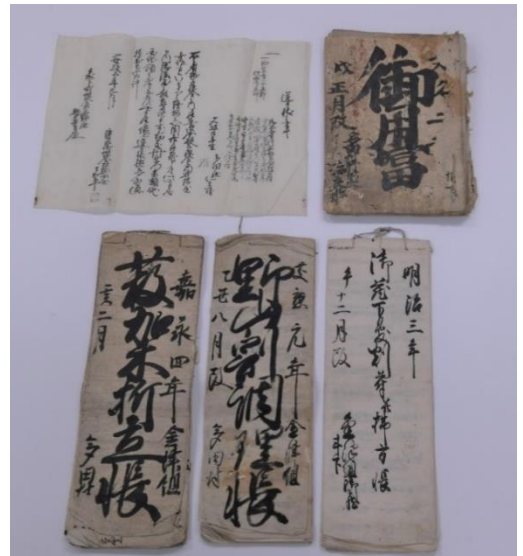
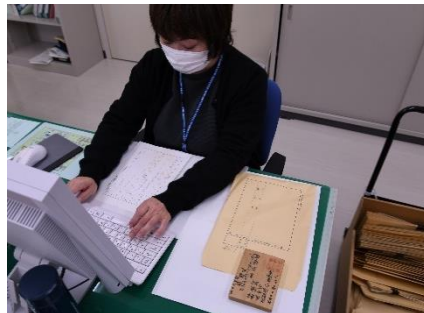
蔵などに長く保存されていたものが多く、状態によってはボロボロになっていたり虫食いがあつたりして、さらに読みにくくなっていることもあります。せっかく個人宅に所蔵されている古文書が、世代交代や転居、建て替えなどにより散逸したり捨てられたりなどの危機に瀕しているものが多々あるのではと思われます。

現代のような印刷物やコピーの書類と違って同じものは一つとしてありません。その古文書が失われてしまうと、そこに記された情報は永久に失われてしまいます。

どうかそのような古文書があれば、守り残してきた先人たちの思いを尊重し保存活動に取り組んで頂ければと思います。

江戸時代に限らず、明治、大正、昭和の古い文書がご自宅にありましたら、ぜひかほく市史編さん室までご連絡ください。

連絡先(電話・FAX番号、メールアドレス)は最終ページをご覧ください。



▲旧高藤家(妙鏡寺)文書



▲旧家所有の文書を確認する専門員

◀ 史料1点1点の情報をデータ化



▲昭和32年当時のブドウの出荷作業

## 古い写真(昭和40年代以前)を探しています

- ◆内日角の船着場や舟屋の景観
  - ◆鉄道関係(駅など)
  - ◆繊維工場(内部)
  - ◆役場(高松町、七塚町、宇ノ気町、金津村)
  - ◆漁業(漁の様子)
  - ◆ブドウ栽培
  - ◆干拓前後の河北潟 など
- ※他にも古い写真(年代が分かればとても助かります)がある方は情報をお寄せください。

## 調査にご協力をお願いします

今年度から本格的に市史編さんの専門委員が各地区の神社や寺院の調査に伺わせていただきます。事前にご連絡を差し上げますのでご協力をお願いいたします。

また、地区や寺院に対してのアンケートも実施の予定ですのでよろしくご協力いたします。



## コラム かほく市の歴史お宝

### 「鎮火祭」高松額神社

今年も2月5日（日）に、高松の額神社で「鎮火祭」が行われ火災予防を祈願するとともに、消防団の各種行事が行われました。

前日の4日には、字高松の全家庭に高松自治文化協会から赤飯が配られ、それを各家でも神棚に供えて火災予防をお祈りしたそうです。

高松町史によれば、藩政の頃の2月5日に高松で大火がありました。その悲惨さと火災予防を忘れないために、村役人から毎年その日に村内全戸に赤飯を配っていましたが、慶応4年(1868年)に赤飯を蒸すことが煩わしかったのか、代わりにお酒を配りました。

するとその翌年の明治元年(1869年)2月6日に、「サイクワン焼」と名付けられた大火が起こり、全村の約5分の2を焼失しました。村民はこの大火は神の怒りにふれたものと考え、翌年から再び2月5日に赤飯を配ることとし、戦争中も中断することなく今日まで続いているそうです。

今年の鎮火祭は天気にも恵まれ、各種行事も無事行われました。町内会の方たちは、今後もこの行事を絶やすことなく次の世代に伝えていきたいと頑張っていました。



▲配付用の赤飯を準備する協会役員



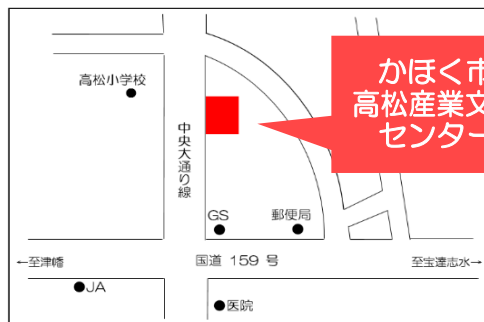
▲火災除けを祈願する女性防火クラブ員

### 編さん室の歩み（活動記録） 1月～5月まで

1月15日	柿の木傷め現地調査・瀬戸町（近世）	3月22日	第2回編さん委員会
16日	第2回 古代・中世部会 会議	4月8日	第1回民俗部会（巡検）
2月4.5日	鎮火祭現地調査・高松（民俗）	12日	第1回寺社部会
10日	起舟現地調査・大崎（民俗）	13日	古文書調査・個人宅（近世・近代）
15日	編さんだより（第2号）発行	14日	古文書調査・個人宅（近代）
15日	第3回 古代・中世部会	5月15日	第1回考古部会
20日	古文書調査・個人宅（近世・近代）	18日	寺院調査・高松（寺院）
22日	第4回 編集専門委員会	22日	第1回近世部会
26日	子供祭現地調査・指江（民俗）	31日	第1回古代・中世部会

### お問合せ・資料の提供はこちらまで

〒929-1215  
 かほく市高松ク42番地1  
 かほく市高松産業文化センター3階  
 かほく市史編さん室  
 TEL：(076)281-3455  
 FAX：(076)281-3521  
 E-mail：shishi@city.kahoku.lg.jp



かほく市  
高松産業文化  
センター